

令和6年度豊中市PTA連合協議会・第1回役員会

R05連Pスローガン「未来に繋ごう、子どもの笑顔と地域の絆」

5月21日（火）19時～教育センター

次第

（進行：社会教育課）

1. 会長あいさつ
三間会長

2. 各ブロックより報告
 - 北東部ブロック
枝川ブロック長
 - 北中部ブロック
福永ブロック長
 - 北西部ブロック
藤澤ブロック長
 - 東部ブロック
吉野ブロック長
 - 西部ブロック
寶積ブロック長
 - 南部ブロック
尾川ブロック長

3. 教育委員会より報告、質疑応答
長坂事務局長
堤理事

4. 議題案件
 - ・役員一覧・対外役員一覧の確認
 - ・総会の「事業計画」「予算」 日時：6月 日（ ） 時～、場所：
 - ・PTA連合協議会のスローガン
 - ・ブロック活動の申請書等
 - ・安全互助制度

5. その他
 - ・役員からPTA関連の質疑応答
 - ・事務局から連絡
 - ・次回開催日程の確認 月 日（ ）19時～教育センター

6. 閉会あいさつ
会長代行

豊中市 PTA 連合協議会・第1回役員会 議事概要

開催日時：5月21日（火）19時～20時50分

開催場所：教育センター研修室、オンラインとのハイブリッド形式

出席者：〈豊中市PTA連合協議会〉（以下、「連P」という）

三間会長（庄内さくら学園）、福永会長代行（3中）、

藤澤会長代行（14中）、尾川書記（豊南）、中村会計（東丘）、

片岡副会長（東豊台）、菅野副会長（北緑丘）、吉野副会長（16中）、

窪田副会長（北条）、小泉副会長（箕輪）、中村顧問（大池）

「ズーム参加」寶積副会長（原田）

〈豊中市教育委員会〉

長坂事務局長、堤理事、北村次長兼社会教育課長、北田社会教育係長、

佐々本主査

○次第

1. 会長あいさつ

三間会長から、連P役員の新体制も決定し、今年度の連P役員会も引き続き活発な意見交換ができる会議としたい旨、挨拶があった。

2. 各ブロックより報告

○福永会長代行（北中部ブロック）からの報告

・研究大会・連Pスローガン・PTA会費徴収について情報交換した。

○藤澤会長代行（北西部ブロック）からの報告

・研究大会・連Pスローガンについて情報交換した。

○吉野副会長（東部ブロック）からの報告

・研究大会・連Pスローガンについて情報交換した。

○寶積副会長（西部ブロック）からの報告

・PTAの保険・PTA会費徴収について情報交換した。

○三間会長（南部ブロック）からの報告

・研究大会・連Pスローガン・PTA会費徴収・令和8年度開校の義務教育学校について情報交換した。

3. 教育委員会より報告、質疑応答

長坂事務局長、堤理事、北村次長から、自己紹介があり、今年度も連Pと教育委員会が連携して情報共有していきたい旨、説明があり、以下の事項について報告があった。

○教職員の行き過ぎたクラブ指導があったことの報道についてお詫びしたい。調査結果が完了しだい厳正に処分したい。

○小学校で実施されている「7時開門」は見守り員を中心に順調に進められている。

39校で事前申込みが600名を超え、その1割前後が日々利用されている。
○克明小で外部による水泳指導が初めて実施され、好評の声を聞いている。

また、以下の事項について、役員と教育委員会での質疑応答があった。

□保護者負担費無償化について、予算内に収めるのが大変で学校側も苦勞されている。行事内容が縮小されたり、学校副教材をなるべく安いものを選定したり、足りない分は断念するといった学校もある。「無償化」となっても、もちろんのこと例年通りの行事に参加でき、例年通りの教材、学習用品で学べると思っていた生徒・保護者が多数かと思うが、学校に充当されている予算額が少ないのではないか。

【回答】保護者負担費無償化に伴う予算については前年度の実績ベースを参考に積算している。ほとんどの学校で前年度実績より増えた金額を充当できている。ただ、一部の学校で前年度をやや下回るような金額での予算充当にはなっているが、学校間での前年度実績の金額の高低があり学校間の均衡化を図るためである事をご理解いただきたい。また、小学校なら6年間、中学校なら3年間での児童生徒1人当たりの学習費の標準額を算出し、その数字も参考材料にしている。

□来年度から会計システム閉鎖が学校側に届いていると聞いたが、その予定か。閉鎖された場合、どのように徴収していくべきか。

【回答】学校で使用している債権管理システムについては、担当課と調整中で、今後、たとえシステムが使用できなくなっても、システム導入以前の方法等でPTA会費の徴収は可能と考えている。今後の債権管理システムの動向が決定しだい情報提供する。

□保護者負担費無償化の学校充当予算の勘案材料にPTAからの学校活動への援助金等が入っているか。また、今後PTAからの学校活動への援助金はゼロとなってもよいか。

【回答】PTAからの学校活動への援助金等は勘案材料に入っていない。また、その金額については、今後の検討課題にしていきたい。

□学校教育活動補助費・芸術鑑賞補助費・カーテンクリーニング代等を公費負担ではないかと思いながら、単P予算に計上している。

【回答】PTAからの寄付を学校から受けている現状があるが、公費負担が望ましいと思われる内容については、PTA側から学校に進言いただきたい。

三間会長から、積年の課題である「PTAから学校への援助金」について、双方で誤解が生じる事が多いと思う。相互理解するため、PTA側は単P予算を提出するので、教育委員会はPTA寄附の基準のような資料を提出いただきたい旨、発言があった。

長坂事務局長から、可能な範囲にはなるが、お示しできる資料があれば情報提供

したい旨、発言があった。

4. 議題案件

- ・役員一覧・対外役員一覧の確認

事務局から、第1回総会の議案書（役員一覧）について説明があった。

- ・総会の「事業計画」「予算」

事務局から、第2回総会の議案書（事業計画・予算）について下記の通り、説明があった。

○昨年度予算に近い数字の予算案①を作成した。

○昨年度の役員会で意見が挙がった、連P会費を下げる予算案②を作成した。

役員から下記の通りの議論後、役員の全員一致で予算案②に決定した。

○ブロック活動費減少に伴う繰越金増大のため、また、単Pの負担軽減を鑑み、連P会費を下げたい。

○令和6年度は、振込手数料に4万円程度もかかる「学校PTA活動助成金」を行わず、「周年事業お祝い金制度」を実施したい。

○安全互助制度の加入単Pの減少に伴い、今後、紙ベースでの概要版チラシ配布から電子媒体での情報提供に変更し、支出を減らしたい。

事務局から、上記の役員一覧・事業計画・予算案②を議案として、総会を開催することについて提案があり、承認された。

また、6月22日（土）19時～@教育センターに集合して開催する事を決定した。

- ・PTA連合協議会のスローガン

各ブロックの提出案の中から、役員の多数決の結果、北東部ブロック提出の「豊中っ子の笑顔のために みんなが参加しやすい活動を」に決定した。

- ・ブロック活動の申請書等

事務局から、ブロック活動助成金（研究・スポーツ大会）について、ブロック内でPTAの意見交換会・子育てや教育の講演会や研修会等・PTA役員の交流としてスポーツ等をされる場合に事前に計画書等を申請すれば「1校15,000円×ブロック内の学校数」の活動費が連P会計からブロックに助成される旨、説明があった。

三間会長から、PTA役員の交流をはじめ、子ども・保護者にとって有意義な研究大会・スポーツ大会を企画していただきたい旨、発言があった。

- ・安全互助制度

事務局から、先の今年度予算案の審議を受け、下記の通り、安全互助制度について説明があった。

○総会で事業計画及び予算が承認されれば、加入の単P数の減少及び支出の縮減

のため、令和6年度からは、紙ベースでのチラシ配布から単P正副会長へのメール等による電子媒体での情報提供に変更する事となる。連Pホームページの安全互助制度の欄に詳細や様式が掲載されている。

○現状55校のうち30数校が、安全互助制度を退会され、そのうちのほとんどの単Pが大阪府PTA協議会の安全会活動補償制度に加入されている。

5. その他

・次回開催日程

次回役員会の開催日時については、6月22日（土）19時～教育センターでの「連P総会」後に決めることとなった。

6. 閉会あいさつ

藤澤会長代行から、世の中的に、今はPTA活動の過渡期になるのかもしれない。そんな中、有意義な意見交換を深め、単P連Pが連携した状態になるようにしていきたい旨、挨拶があった。